

<p>c. シンガポールやその国の農業の問題点についての知識がある。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができる。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。 c. 疑問詞+to-不定詞を用いて、正しい文を書くことができる。 d. 「言い直す表現」として、I mean ~を用いて、場面に合ったやり取りをすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 a. 垂直農場の仕組みや利点について関心を持ち、積極的に発言しようしたり、聞こうとしたりしている。 b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとしている。</p>		○	○	○		<p>【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。 c. 疑問詞+to-不定詞を用いて、正しい文を書くことができた。 d. 「言い直す表現」として、I mean ~を用いて、場面に合ったやり取りをすることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 a. 垂直農場の仕組みや利点について関心を持ち、積極的に発言しようしたり、聞こうとした。 b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。</p>	○	○	○	10
<p>定期考査</p>		○	○	○	○		○	○	○	1
<p>1 学 期</p> <p>D 単元 Goal Setting 【知識及び技能】 a. 分詞構文の基本的な意味や用法を理解している。 b. 目標達成のためのかぎや効果的な目標の立て方について、本文にある以外のものを知っている。 c. 目標を定め、その達成に向けて努力することの大切さを知っている。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができる。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。 c. 分詞構文を用いて、正しい文を書くことができる。 d. 「相手をほめる表現」として、You did it!を用いて、場面に合ったやり取りをすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 a. 目標に向かって努力することの重要性や効果的な目標の立て方について関心を持ち、積極的に発言しようしたり、聞こうとしたりしている。 b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとしている。</p>	<p>・指導事項 分詞構文 相手を褒める表現 ・教材 教科書、ワークブック</p>					<p>【知識及び技能】 a. 分詞構文の基本的な意味や用法を理解できた。 b. 目標達成のためのかぎや効果的な目標の立て方について、本文にある以外のものを知ることができた。 c. 目標を定め、その達成に向けて努力することの大切さを知ることができた。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。 c. 分詞構文を用いて、正しい文を書くことができた。 d. 「相手をほめる表現」として、You did it!を用いて、場面に合ったやり取りをすることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 a. 目標に向かって努力することの重要性や効果的な目標の立て方について関心を持ち、積極的に発言しようしたり、聞こうとした。 b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。</p>	○	○	○	11

<p>E 単元 The High School Student Restaurant</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>a. 形式主語(It)の用法やそれを用いた文の構造を理解している。</p> <p>b. 将来職業を選択する際に、どのような点を考慮すべきかについて知っている。</p> <p>c. 働くことの意義や労働から得られる喜びにはどのようなものがあるかについて知っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができる。</p> <p>b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。</p> <p>c. 形式主語(It)を用いて、正しい文を書くことができる。</p> <p>d. 「望みや気持ちを表す表現」として、feel like ~ingを用いて、場面に合ったやり取りをすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>a. 高校生レストラン「まごの店」やそこで働く生徒たちについて関心を持ち、積極的に発言しようとしていたり、聞こうとしていたりしている。</p> <p>b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとしている。</p>	<p>・指導事項 形式主語 望みや気持ちを表す表現</p> <p>・教材 教科書、ワークブック</p>	○	○	○		<p>【知識及び技能】</p> <p>a. 形式主語(It)の用法やそれを用いた文の構造を理解できた。</p> <p>b. 将来職業を選択する際に、どのような点を考慮すべきかについて知ることができた。</p> <p>c. 働くことの意義や労働から得られる喜びにはどのようなものがあるかについて知ることができた。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。</p> <p>b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。</p> <p>c. 形式主語(It)を用いて、正しい文を書くことができた。</p> <p>d. 「望みや気持ちを表す表現」として、feel like ~ingを用いて、場面に合ったやり取りをすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>a. 高校生レストラン「まごの店」やそこで働く生徒たちについて関心を持ち、積極的に発言しようとしていたり、聞こうとしていたりした。</p> <p>b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。</p>	○	○	○	10
<p>F 単元 Why Is It That Shape?</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>a. 関係代名詞(what)の意味や用法を理解している。</p> <p>b. 私たちがふだん使う製品の形状には、さまざまな工夫がされていることを知っている。</p> <p>c. 身の回りのものの形の理由について、本文以外の例を知っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができる。</p> <p>b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。</p> <p>c. 関係代名詞(what)を用いて、正しい文を書くことができる。</p> <p>d. 「理由を述べる表現」として、This is because ~.を用いて、場面に合ったやり取りをすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>a. さまざまなものの形やその形となった理由について関心を持ち、積極的に発言しようとしていたり、聞こうとしていたりしている。</p> <p>b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとしている。</p>	<p>・指導事項 関係代名詞what 理由を述べる表現</p> <p>・教材 教科書、ワークブック</p>	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <p>a. 関係代名詞(what)の意味や用法を理解できた。</p> <p>b. 私たちがふだん使う製品の形状には、さまざまな工夫がされていることを知ることができた。</p> <p>c. 身の回りのものの形の理由について、本文以外の例を知ることができた。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。</p> <p>b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。</p> <p>c. 関係代名詞(what)を用いて、正しい文を書くことができた。</p> <p>d. 「理由を述べる表現」として、This is because ~.を用いて、場面に合ったやり取りをすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>a. さまざまなものの形やその形となった理由について関心を持ち、積極的に発言しようとしていたり、聞こうとしていたりした。</p> <p>b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。</p>	○	○	○	11
<p>定期考査</p>		○	○	○	○		○	○	○	1

<p>G 単元 Fuji, a Dolphin With a New Fin</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>a. 過去完了形(had+過去分詞)の基本的な用法(大過去/継続/完了/経験)を理解している。</p> <p>b. 水族館の飼育員や獣医の仕事についての知識がある。</p> <p>c. 動物と人間が共存できる自然環境を守ることの大切さを知っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができる。</p> <p>b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。</p> <p>c. 過去完了形(had+過去分詞)の基本的な用法(大過去/継続/完了/経験)を用いて、正しい文を書くことができる。</p> <p>d. 「感想を尋ねる表現」として、How was ~? を用いて、場面に合ったやり取りをすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>a. イルカのフジや、フジを助けようとした人々について関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりしている。</p> <p>b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 過去完了 感想を尋ねる表現 ・教材 教科書、ワークブック 	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <p>a. 過去完了形(had+過去分詞)の基本的な用法(大過去/継続/完了/経験)を理解できた。</p> <p>b. 水族館の飼育員や獣医の仕事についての知識が身に付いた。</p> <p>c. 動物と人間が共存できる自然環境を守ることの大切さを知ることができた。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。</p> <p>b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。</p> <p>c. 過去完了形(had+過去分詞)の基本的な用法(大過去/継続/完了/経験)を用いて、正しい文を書くことができた。</p> <p>d. 「感想を尋ねる表現」として、How was ~? を用いて、場面に合ったやり取りをすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>a. イルカのフジや、フジを助けようとした人々について関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりした。</p> <p>b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。</p>	○	○	○	10
<p>H 単元 Do We Need That?</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>a. 使役動詞(make/let/have)の基本的な用法を理解している。</p> <p>b. 相手への配慮を示しながら、相手の意見に反対したり、異なる意見を述べたりする際に有用ないくつかの表現について知っている。</p> <p>c. 外国の人からみた日本のよい点・悪い点について、いくつかの具体例を知っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができる。</p> <p>b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。</p> <p>c. 使役動詞(make/let/have)を用いて、正しい文を書くことができる。</p> <p>d. 「相手の考えを尋ねる表現」として、What do you think of ~? を用いて、場面に合ったやり取りをすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>a. 身の回りのサービスやそれに対する日本と海外の考え方の違いについて関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりしている。</p> <p>b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 使役動詞 相手の考えを尋ねる表現 ・教材 教科書、ワークブック 	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <p>a. 使役動詞(make/let/have)の基本的な用法を理解できた。</p> <p>b. 相手への配慮を示しながら、相手の意見に反対したり、異なる意見を述べたりする際に有用ないくつかの表現について知ることができた。</p> <p>c. 外国の人からみた日本のよい点・悪い点について、いくつかの具体例を知ることができた。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。</p> <p>b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。</p> <p>c. 使役動詞(make/let/have)を用いて、正しい文を書くことができた。</p> <p>d. 「相手の考えを尋ねる表現」として、What do you think of ~? を用いて、場面に合ったやり取りをすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>a. 身の回りのサービスやそれに対する日本と海外の考え方の違いについて関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりした。</p> <p>b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。</p>	○	○	○	10	
<p>定期考査</p>		○	○	○		○	○	○	1	

2 学 期	<p>I 単元 Changing Feelings</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>a. 関係代名詞の継続用法の形や働きを理解している。</p> <p>b. 考え方を変えてnegative thinkingから脱却する方法について、本文以外の例を知っている。</p> <p>c. 感情をうまくコントロールすることやメンタルヘルスケアの重要性を知っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができる。</p> <p>b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。</p> <p>c. 関係代名詞の継続用法を用いて、正しい文を書くことができる。</p> <p>d. 「同情する表現」として、That's too bad.を用いて、場面に合ったやり取りをすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>a. 感情と思考の関連性について関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりしている。</p> <p>b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとしている。</p>	<p>・指導事項 関係代名詞の継続用法 同情を表わす表現</p> <p>・教材 教科書、ワークブック</p>	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <p>a. 関係代名詞の継続用法の形や働きを理解できた。</p> <p>b. 考え方を変えてnegative thinkingから脱却する方法について、本文以外の例を知ることができた。</p> <p>c. 感情をうまくコントロールすることやメンタルヘルスケアの重要性を知ることができた。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。</p> <p>b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。</p> <p>c. 関係代名詞の継続用法を用いて、正しい文を書くことができた。</p> <p>d. 「同情する表現」として、That's too bad.を用いて、場面に合ったやり取りをすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>a. 感情と思考の関連性について関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりした。</p> <p>b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。</p>	○	○	○	10
	<p>J 単元 Ban Shigeru, Architect of Paper</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>a. 関係副詞(when/where)の基本的な用法を理解している。</p> <p>b. 災害時の被災地支援に関し、さまざまな取り組みの例や問題点について知っている。</p> <p>c. さまざまな職業が何らかの形で社会貢献をしていることを知っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができる。</p> <p>b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。</p> <p>c. 関係副詞(when/where)を用いて、正しい文を書くことができる。</p> <p>d. 「計画を伝える表現」として、I'm thinking of ~ing. / I'm going to ~.を用いて、場面に合ったやり取りをすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>a. 建築家 坂 茂さんと彼の活動について関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりしている。</p> <p>b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとしている。</p>	<p>・指導事項 関係副詞 計画を伝える表現</p> <p>・教材 教科書、ワークブック</p>	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <p>a. 関係副詞(when/where)の基本的な用法を理解できた。</p> <p>b. 災害時の被災地支援に関し、さまざまな取り組みの例や問題点について知ることができた。</p> <p>c. さまざまな職業が何らかの形で社会貢献をしていることを知ることができた。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。</p> <p>b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。</p> <p>c. 関係副詞(when/where)を用いて、正しい文を書くことができた。</p> <p>d. 「計画を伝える表現」として、I'm thinking of ~ing. / I'm going to ~.を用いて、場面に合ったやり取りをすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>a. 建築家 坂 茂さんと彼の活動について関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりした。</p> <p>b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。</p>	○	○	○	13
定期考査			○	○	○	○		○	○	○	1

3 学 期	<p>K 単元 Win for Our Nation</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>a. 知覚動詞+0+動詞の原形/~ingの意味や用法を理解している。</p> <p>b. アパルトヘイトがどのようなものであるかと、その撤廃までの経緯について知っている。</p> <p>c. 人種・性・社会的身分などに関係なく、基本的人権が尊重されるべきであることを知っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができる。</p> <p>b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。</p> <p>c. 知覚動詞+0+動詞の原形/~ingの構文を用いて、正しい文を書くことができる。</p> <p>d. 「人を誘う表現」として、How about ~ing?を用いて、場面に合ったやり取りをすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>a. マンデラとスプリングボックスの挑戦やアパルトヘイトについて関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりしている。</p> <p>b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとしている。</p>	<p>・指導事項 知覚動詞を用いた文人を誘う表現</p> <p>・教材 教科書、ワークブック</p>	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <p>a. 知覚動詞+0+動詞の原形/~ingの意味や用法を理解できた。</p> <p>b. アパルトヘイトがどのようなものであるかと、その撤廃までの経緯について知ることができた。</p> <p>c. 人種・性・社会的身分などに関係なく、基本的人権が尊重されるべきであることを知ることができた。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。</p> <p>b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。</p> <p>c. 知覚動詞+0+動詞の原形/~ingの構文を用いて、正しい文を書くことができた。</p> <p>d. 「人を誘う表現」として、How about ~ing?を用いて、場面に合ったやり取りをすることができた。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>a. マンデラとスプリングボックスの挑戦やアパルトヘイトについて関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりした。</p> <p>b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。</p>	○	○	○	12
	<p>L 単元 From Small Factories to the World</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>a. 仮定法過去/仮定法過去完了の基本的な用法を理解している。</p> <p>b. 日本の町工場が開発した製品で、世界で評価されているものについて、ほかにどのようなものがあるかを知っている。</p> <p>c. 世界中で使われている日本製品にはどのようなものがあるかについて知っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができる。</p> <p>b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。</p> <p>c. 仮定法過去/仮定法過去完了の基本的な用法を用いて、正しい文を書くことができる。</p> <p>d. 「人に情報を伝える表現」として、According to ~を用いて、場面に合ったやり取りをすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>a. 日本の工場のものづくり精神や高度な工業技術について関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりしている。</p> <p>b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとしている。</p>	<p>・指導事項 仮定法過去、仮定法過去完了人に情報を伝える表現</p> <p>・教材 教科書、ワークブック</p>	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <p>a. 仮定法過去/仮定法過去完了の基本的な用法を理解できた。</p> <p>b. 日本の町工場が開発した製品で、世界で評価されているものについて、ほかにどのようなものがあるかを知ることができた。</p> <p>c. 世界中で使われている日本製品にはどのようなものがあるかについて知ることができた。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。</p> <p>b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。</p> <p>c. 仮定法過去/仮定法過去完了の基本的な用法を用いて、正しい文を書くことができた。</p> <p>d. 「人に情報を伝える表現」として、According to ~を用いて、場面に合ったやり取りをすることができた。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>a. 日本の工場のものづくり精神や高度な工業技術について関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりした。</p> <p>b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。</p>	○	○	○	13
	合計										
定期考査			○	○	○	○					1